

中央有鄰学院の理念

「有鄰」必ず仲間がいるよ！

私たちは、中央有鄰学院で暮らす子どもたちが、将来、社会の中で、自立し、生きがいを持った生活を送ることができる人になることを目標に、次のような子どもに育ててほしいと願っています。（7つの願い）

- ①からだも心も健康な子ども
- ②生命の尊さを知り、人の喜び・悲しみ・痛みの分かる子ども
- ③人への思いやりや優しさを持ち、仲間との生活を楽しむ子ども
- ④善いこと、悪いことの判断ができ、実践する子ども
- ⑤生活力と学力を身につけた子ども
- ⑥やりたいことを発見し、遊びを創造する子ども
- ⑦夢や希望を実現するために、自分を大切に、困難に立ち向かう勇気を持った子ども

▶▶7つの願い と 7つの方針

私たちは子どもへの願いを実現させるため、「児童の権利に関する条約」の精神に則り、子どもの最善の利益を優先し、基本的人権を尊重することを大原則に、次のような基本方針で、子どもたちの育ちの支援を行います。

- ①私たちは、子どもと職員との信頼関係の形成を第一に考え、子どもと職員との固い絆を土台に、支援を行います。
- ②私たちは、子どもを肯定的に理解し、長所を発見し伸ばす支援を行います。
- ③私たちは、子どもと同じ目線に立ち、気持ちを理解し、共感することから、支援を行います。
- ④私たちは、子どもにとって親との関係の重要性を理解し、親子の絆を大切に、支援を行います。
- ⑤私たちは、社会に開かれた施設運営を行い、関係機関・地域との密接な連携の下で、支援を行います。
- ⑥私たちは、子どもが安全で安心した生活ができるように生活環境を整備します。
- ⑦私たちは、子どもと真正面から対峙する姿勢を示し、伝えるべきことを伝えていきます。

▶▶職員倫理綱領 7つの主要責務

施設というともすれば閉鎖的になりがちな空間、措置費制度という保障された財政基盤、こうした中に安住・停滞することなく、児童福祉施設のあるべき姿を追求し、7つの願いと7つの基本方針の実現に向け、切磋琢磨すると共に、自らは心身共に強く、健康であるよう努め、以下の責務を果たしていきます。

- ①私たち職員は、児童養護施設及び乳児院を取り巻く内外の困難な状況を認識し、その社会的役割と責任を果たします。
- ②私たち職員は、人権感覚を磨くと共に、「人の心の痛みを理解し、共感し、分かち合える」感性を磨きます。
- ③私たち職員は、福祉への理解を深め、専門的知識・技術の研鑽に励みます。積極的に研修に励み、専門性を身につけます。
- ④私たち職員は、職員間の緊密な連携を強め、「認め合い」「励まし合い」「話し合う」相互理解と協力を深め、「共に学び」「共に頑張り」「共に歩む」姿勢を堅持します。
- ⑤私たち職員は、社会に対し、施設の説明責任に基づく情報公開に努め、第三者評価機関による評価を受け、その結果を真摯に受けとめ、それを生かしてまいります。
- ⑥私たち職員は、実践の客観化と総括から学んだことを教訓化し共有化することにより、施設サービスの向上に努めます。
- ⑦私たち職員は、困難を伴う養育活動ゆえ、経験を蓄積し、その蓄積された経験を発展的に継承していきます。